

長野県革新懇ニュース

2014年3月号
(発行日3月10日)
年会費5000円(送料込)
振替 0510-3-15971

179

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: yamaguti@trust.ocn.ne.jp

平和憲法を守り生かす

県民大集会

日時 4月29日(火)
13:30~16:00
会場 ホクト文化ホール



不都合な史実に どう向き合うか

寺沢秀文さん

(一般社団法人「満蒙開拓平和記念館」専務理事)

順調な滑り出し

開館1周年の感想はいかがですか
昨年の4月25日の開館以来、10か月余りが経過しました。当初の見込みは5000人でしたが、お陰様でこの間、2万7500人の来館者がありました。私個人としては、初年度は2万人程度になるのではないかとという予測をしていましたが、公的助成も受けているので、堅い目標として5000人という事業計画を立てました。とは言え、私の予測に照らしても当初の想定を超えるもので、順調な滑り出しだと思ってい

ます。加えて、私たちが当初考えていた以上に多様な顔ぶれの来館者となっております。もちろん県内が多いのですが、地域的には文字通り北は北海道から南は沖縄、さらには中国からもいらしています。また、開拓関係の方やご遺族の方も来られるのですが、それ以上に若い方やお母さん方、さらには高校生や中学生の皆さんが学校ぐるみ、クラスぐるみで来館されています。先日、近くの松川中学の生徒さん約130人がいらして、鎮魂の歌をささげてもらいました。広島修学旅行の事前学習の場などとしても位置付けられているようです。

全国唯一の、満蒙開拓に特化した記念館

開館に至る経過やご苦労についてはどうでしょう
飯田・下伊那地域は全国一多くの満蒙開拓団を送り出した地域です。その結果として、中国残留孤児や残留婦人の問題はもともと深刻なわけですが、さまざまな個人や団体が支援活動を行なってきたのですが、その中心母体として飯田日中友好協会がありました。協会は、もちろん日中友好をすすめるという活動も行ってききましたが、それ以上に残留孤児の支援などに長く取り組み組んできました。そうした中で、残留孤児が生まれ

た背景や、どうしてこの地域から全国一の開拓団を送り出したのか、それを知りたいという声が高まってきました。また、満蒙開拓の資料はあまりないので、支援活動の中で貴重な資料が手に入ってきました。それらの資料を埋もれさせたくないという思いも強まりました。いろいろ調べたところ、満蒙開拓に特化した記念館が全国には一つもないことがわかりました。そこで、平成18年7月の飯田日中友好協会の総会で、満蒙開拓にかかわる記念館をつくり、平和の発信地にするということが決定され、第1歩を踏み出すことになりました。実は、私の両親が開拓団員だったという関係もあり、私自身が建設の提案をさせてもらい、準備会の事務局長も務めることになりました。

被害と加害の史実を直視する

どのような記念館をめざされたのでしょうか
これまで触れられることが少なかったのですが、実は、満蒙開拓は不都合な史実という面をもっています。そうした側面もしっかり向き合い、何故そうなったのかということも明らかにすることが重要だと考えました。そして、満蒙開拓の歴史を被害という面からだけでなく加害という面からもとらえることにしました。それは、負の遺産に目をむく社会は再び同じ過ちを繰り返すことになるからです。満蒙開拓は国策として推進されましたが、その主たる狙いは軍の食料確保と疲弊した国内農村からの人減らしにありました。開拓と言ってもそれは名ばかりで、その実態の多くは、中国の農民の土地や家の半強制的な取り上げであり、侵略に加担したことになります。敗戦で開拓団は塗炭

コラム

国連は1975年を国際婦人年に設定し、同年第1回世界女性会議を開き、1995年、北京の

第4回世界女性会議で歴史上初めて「女性の権利は人権である」と位置付けました▼日本では女性にとつて多くの困難な問題が職場・社会・家庭の中に根強く存在しています。女性の平均賃金は男性の5〜7割。子育て・介護の負担がずつしりと女性の肩にかかっている現状。セクハラや家庭内暴力。あらゆる分野で政策や立案するポストへの女性の参加も遅れ、ジェンダーギャップ指数は136ヶ国中105位。前年101位、前々年は98位と男女の格差が拡大していることを示しています▼ジェンダーとは生物学的な性の違いではなく「女らしさ、男らしさ」「男は仕事、女は家庭」など社会的・文化的に作られた性別・性差のことです▼安倍首相が任命したNHK会長はじめ経営委員の人権感覚のない暴言の数々や橋下大阪市長の「慰安婦はなかった」発言。過去には石原知事の「文明のもたらしたもつとも悪しき有害なものはババア」森首相の「子どもを産まない女性に福祉はいらない」柳沢厚労相の「女性は産む機械」等々の女性蔑視発言は女性差別の根深さを示しています。ジェンダー平等へ、女性たちは黙っていないゾー!!!

【小】